



宇迦橋の架け替え工事が始まる！

近いうちにこの橋は撤去され、令和5年に幅3mの歩道をもつニュー宇迦橋がお目見えする予定。

(写真提供は、大社町美術協会写真部の板垣宏氏：令和3年2月撮影)

財団いづも

第19号

発行所
公益財団法人いづも財団
〒699-0701
高根県出雲市大社町杵築東283
大社國學館内
TEL 0853-31-4346
FAX 0853-31-4348
info@izumozaidan.or.jp

編集発行人
山崎裕二



宇迦橋の架け替え工事始まる！

理事長 古瀬 誠

現在、宇迦橋の架け替え工事が進められています。宇迦橋は、大正三（一九一四）年に大社駅と神門通りとをつなぐ橋として架けられました。創設当初は木橋でしたが、昭和十二（一九三七）年に今日のようなコンクリート橋に架け替わりました。

この橋の上から出雲大社の勢溜を臨む眺望は、大鳥居（一の鳥居）とまっすぐに伸びた直線道、それに美しい松並木とが見事にミックスされ、神都大社の玄関口にふさわしい雰囲気醸し出しています。

しかし、この橋もすでに八三年が経過し、老朽化が目立ってきました。また増加する観光客に対して、歩道スペースも手狭になってきました。そこで、今回、架け替え工事が行われることになりました。工事の完了は令和五年が予定されています。二年後には、歩道が幅3mという今日の倍の広さをもつニュー宇迦橋がお目見えするはずですよ。

ところで、この橋はどうして「宇迦橋」と命名されたのでしょうか。この点について、少し考え

てみたいと思います。命名したのは、明治四十四（一九一一年）年に、島根県人として初めて県知事に就任した高岡直吉（津和野出身）です。彼は就任以来、出雲大社の神域を広げるために、参詣道を堀川まで延長する構想をもっていました。また一方では、参詣道の入口に架けるこの橋を、神都大社にふさわしい橋名にしたいとも考えていました。そのために古典を読み漁り、『古事記』の「宇迦山の麓に宮殿（出雲大社）を建てた」という一節に着目し、「宇迦橋」と命名しました。したがって、「宇迦橋」の意味は、「宇迦山（現在の八雲山）の麓にある出雲大社に至る参詣道の入口に架かる橋」ということとなります。

ちなみに、大正四（一九一五年）年には、橋の北詰に参詣道の入口として、コンクリート製の日本一の高さをもつ大鳥居（当時）が建てられました。また直線道の両側には、参詣道の延長として松並木二八〇本が植えられました。これらは、いづれも事業家で篤志家の小林徳一郎翁の寄付によるものです。

好評の「いづも財団 助成金交付事業」

いづも財団では、出雲文化の保存・継承や文化活動を通じた地域の活性化を進めるために「助成金交付事業」を行っています。この事業は平成二十四年度から始め、今年度で一〇年目に入ります。すでに、この九年間で一三六件（個人・団体）の事業に助成しています。

資料 これまでの助成対象件数

事業の各部門名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
1「出雲」文化の探求事業	5件	6件	2件	5件	
2「出雲」文化の保存・継承事業	無形文化財	4件	3件	6件	3件
	有形文化財	1件	3件	2件	1件
3伝統文化を生かした地域の活性化事業	5件	7件	4件	6件	
社寺林の環境整備事業	1件	2件	2件	3件	
計	16件	21件	16件	18件	

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
1件	5件	2件	1件	1件	28件
5件	3件	1件	0件	3件	28件
3件	1件	1件	3件	3件	18件
5件	6件	8件	5件	2件	48件
1件	3件	1件	0件	1件	14件
15件	18件	13件	9件	10件	136件

皆様からいただいた寄付金（個人会員二千元、法人会員二万円）は、この事業にも使わせていただいています。

助成事業の目的と対象

この助成事業は、地域に密着した研究や活動を展開し、地元の活性化につながる運動に熱心に取り組んでいる個人・団体を積極的に応援することを目的とし、(1)「出雲」文化の探求、(2)「出雲」文化の保存・継承、(3)地域の活性化・鎮守の森、の三分野において、年間七百万円を助成しています。

この九年間の間に、助成内容も少しずつ変化してきました。その特色について、いくつか紹介します。

著書の出版から調査活動への助成へと変わりつつある「出雲」文化の探求事業！

島根県内において、地域の歴史や伝統文化について研究している個人・団体への助成です。これまでの助成対象となった事業をみると、当初は『出雲国大社観光史』『出雲の山・川・平野・海岸』地形・地質の点描』『中世出雲の国家支配』など、それまでの研究成果を出版物として刊行する内容が多い傾向でした。

ところが、数年前から「相見香雨自筆調査録」の研究と紹介、「中世出雲地方における大明流鍼灸導入の目録作成事業」「雲南市吉田村の民俗芸能調査」など、調査や史料目録作成などを目的とした内容が増えてきています。

なかでも「出雲地方及び陰陽地域への石州瓦の技術移転に関する研究」は、個人で応募され、島根半島や隠岐諸島をはじめ日本海沿岸部の浦々に残る赤瓦を調査し、石州瓦が「北前船」による流通に加えて「出職」による技術移転によって遠く北海道まで点在してい

伝統芸能の復活も始まった「地域の活性化」事業！

「地域の活性化」事業には、盆踊りや獅子舞などの伝統行事の保存継承事業をはじめ案内看板設置、出雲弁の再生事業、神楽道具類の整備、和歌披講の魅力発信事業などさまざまな内容があり、毎年それぞれに助成を行っています。

その中で「出雲系系操り人形芝居の保存継承事業」は、江戸時代から大社町で行われていた系操り人形芝居を七〇年ぶりに完全復活させたものです。

当時使われていた人形は残っていましたが破損していました。そのため、自分たちですべてを手作りし、操り方は同じ出雲系と思われる山口県周南市安田へ出掛けて習うこととし、スタートしました。その結果、平成三十年二月には、人形を借りながらも保存会のメ



資料 大正期頃の同じ瓦頭文様の石州瓦の分布

ることを写真によって明らかにしました。このように、研究成果を公表するだけでなく、これから研究を深めていくための基盤研究や調査研究にも助成しています。これまでコツコツと研究されている個人・団体の皆様の応募をお待ちしています。

ンバーだけで復活プレ公演、そして、令和元年七月には出雲大社で奉納公演が実現しました。

事業が終了した時、この団体から「人形製作に当たっては、いづも財団の助成があつてこそ実現したものであり、改めて感謝申し上げたいと思います。」との感謝の言葉をいただきました。

この「地域の活性化」事業は、系操り人形などを製作することが目的ではなく、それを通じた活動によって、いかにして地域の人々のつながりを強め、地域の伝統文化を守り育て、後世につなげていくのが重要なポイントです。その点で「出雲系系操り人形芝居の保存継承事業」は、大いに参考になる取組みです。

島根県内には数多くの文化財が残り、大切に保存されています。いづも財団ではこれらを大切に継承し、次の世代につなげていくため、皆さんの努力に寄り添っていきたくと考えています。



出雲大社での奉納公演



令和3年度 いづも財団公開講座開催のご案内

令和3年度の公開講座は、下記の日程で開催します。

いづも財団では、今年度から「出雲の歴史と地域文化」をテーマに、6年間をかけて30講座、60講演をとおして特色ある出雲の歴史と文化を考えてみようと思っています。

この40年間に荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡・出雲大社境内遺跡等の発掘、また『大社町史』や『松江市史』などの市町村史の発刊により、出雲の歴史像も変わりつつあります。この講座では、最新の研究成果を踏まえて、わかりやすく皆様方にお伝えしようと思っています。

第1期は原始・古代編ですが、第2期は古代編、第3期は中世編、第4・5期は近世編、第6期は近現代編を予定しています。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

第1期「原始・古代出雲の歴史と地域文化」

無料

定員各 130名

回	講座テーマ	講演題目及び講師名	開催期日
1	出雲平野の形成と縄文人の暮らし	A：河川堆積と火山噴火で出来た出雲平野 中村唯史(三瓶自然館サヒメル学芸員)	5月22日(土) 大社文化プレイス うらら館 13:30~16:10
		B：出雲の縄文人が欲しがった隠岐の黒曜石 宍道正年(宍道正年歴史研究所代表)	
2	農耕の展開と出雲平野のムラムラ	A：原山(大社町)に生きた人々と出雲平野の開発 坂本豊治(出雲弥生の森博物館学芸員)	7月17日(土) 大社文化プレイス うらら館 13:30~16:10
		B：三重の環濠をもつ田和山遺跡(松江市)の謎 松本岩雄(八雲立つ風土記丘顧問)	
3	出雲の青銅器文化の展開	A：荒神谷遺跡発見から35年!わかってきたこと、わからないこと 宍道年弘(荒神谷博物館企画員)	10月23日(土) 大社文化プレイス うらら館 13:30~16:10
		B：出雲の青銅器文化あれこれ 平野芳英(荒神谷博物館学芸顧問)	
4	大型墳丘墓の出現と出雲世界	A：四隅突出型墳丘墓の出現と出雲の王 三原一将(出雲弥生の森博物館係長)	12月4日(土) 大社文化プレイス うらら館 13:30~16:10
		B：出雲の地域首長と日本海交易 岩橋孝典(県埋蔵文化財センター調査第2課長)	
5	出雲の地域首長と大和政権	A：古墳で読みとく東西出雲の地域首長の拮抗 ~山代二子塚古墳(松江市)と大念寺古墳(出雲市)~ 仁木 聡(県教育庁文化財課企画員)	【令和4年】 2月26日(土) 大社文化プレイス うらら館 13:30~16:10
		B：出雲と大和政権の相克 花谷 浩(出雲弥生の森博物館館長)	

1) 演題・講師は変わることがあります。 2) 講演時間は各70分です。 3) 受付は13:00からです。

◎受講ご希望の方は、下記にて受け付けています。電話・ファックス・Eメール等にてお申込み下さい。

事務局

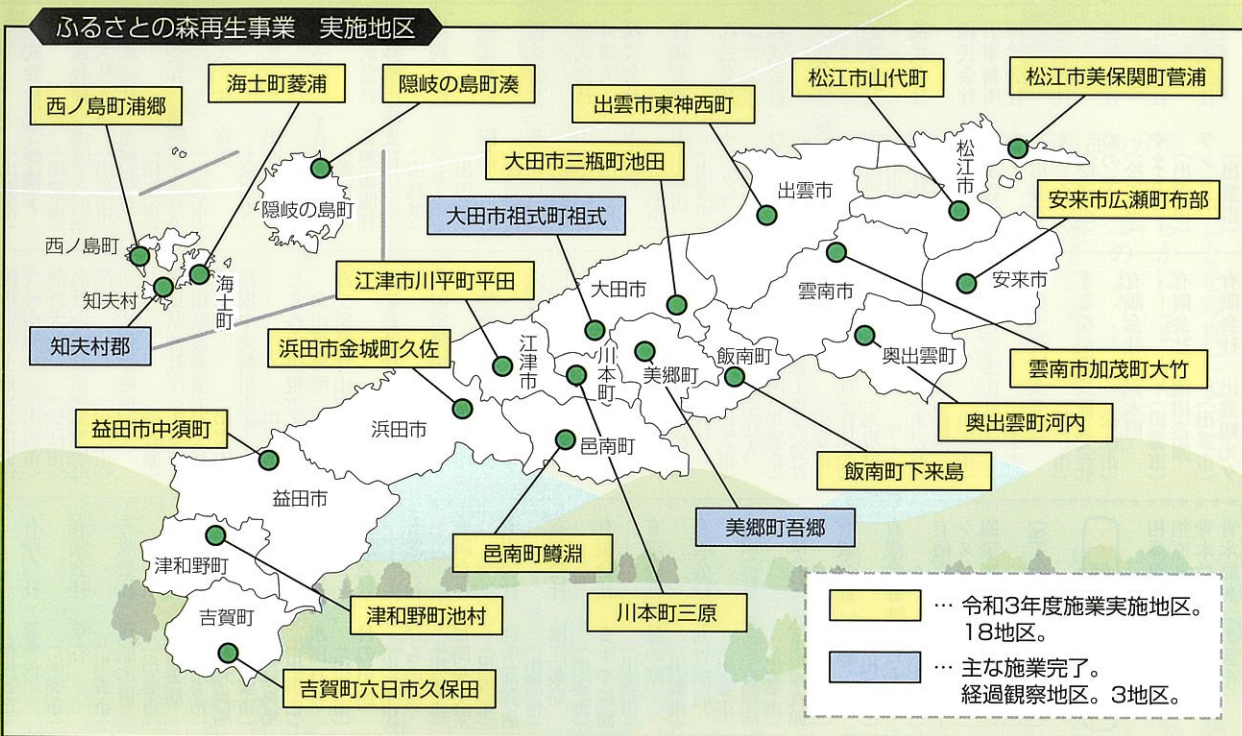
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283 公益財団法人いづも財団

電話：0853-31-4346 ファックス：0853-31-4348

Email：info@izumozaidan.or.jp

皆様のお近くでも 「ふるさとの森」が整備されています!!

出雲大社「平成の大遷宮」を記念し、平成25年度から始まった「ふるさとの森再生事業」も9年目を迎えました。令和3年度は5月30日に開催が予定されている全国植樹祭会場にほど近い、大田市三瓶町池田地区を加え、県内17市町18地区で本事業が実施される運びとなりました。既に主な施業を終えた地区もありますが、今後も森林の育成状況を観察するとともに、地域の皆様に親しまれ、末永く継承されていく森林へと後押しし、各市町村の皆様と共に広報活動にも力を注いでまいります。



ふるさとの森再生事業 施業紹介

芽かき 芽かきは、萌芽更新により成長した萌芽枝を整理する作業です。本事業が主に育成する広葉樹は、伐採後の切株から複数本の萌芽枝が成立し、そのまま放置すると枝は細いままではうき状に密集してしまいます。萌芽枝の自然淘汰には非常に多くの時間を要する為、人為的に遷移を後押しするのが本施業の目的です。



安来市広瀬町布部地区。成長した萌芽枝が密集し、周囲の現状が把握できない。



(参考) 松江市緑山公園付近森林。萌芽枝がそのまま成長し、林床にも光が殆んど入らない。

令和二年度会員名簿

(三月三十一日現在)

法人会員

Table listing members of the organization, categorized by '法人会員' (Corporate Members) and '個人会員' (Individual Members). The table includes names, addresses, and organizational affiliations.

金本晋也 (出雲市) 金本武光 (東京都) 金本英久 (出雲市) 金本里花 (広島県) 加村健悟 (宮崎県) 亀山美雪 (出雲市) 嘉本直樹 (出雲市) 鳥野尚 (松江市) 川上英次 (東京都) 川上幸信 (出雲市) 川上幸信 (出雲市) 川嶋ひろみ (和歌山県) 川島美美子 (松江市) 川谷琴子 (出雲市) 川谷誠一 (出雲市) 川谷貴子 (出雲市) 川谷貴大 (出雲市) 川谷トヨ子 (出雲市) 川谷美琴 (出雲市) 川西正明 (大阪府) 川本貢功 (松江市) 神田弘 (兵庫県) 神田幸則 (出雲市) 木佐明宏 (出雲市) 岸野恵 (出雲市) 木次井悠介 (出雲市) 北井加代子 (出雲市) 北井征二 (兵庫県) 北井武志 (出雲市) 北井康正 (出雲市) 北島建孝 (出雲市) 北原郁子 (松江市) 北吉チヨミ (大阪府) 儀満京子 (出雲市) 木村進 (出雲市) 木村博之 (出雲市) 共同店 (大國美矢子) 喜和田公二 (出雲市) 金時堂株式会社 (雲南市) 金鳳酒造有限公司 (安来市) 草谷和子 (出雲市) 草山由梨 (神奈川県) 熊山仁志 (邑南町) 久家沙織 (出雲市) 栗原早織 (松江市) 黒木国博 (出雲市) 黒崎寿政 (出雲市) 黒田郁子 (出雲市) 黒田潤子 (出雲市) 黒目光正 (出雲市)

桑原健一 (出雲市) 桑原弘 (松江市) 桑本 巖 (出雲市) 小池清尹 (出雲市) 神門貞良 (出雲市) 神門真勝 (出雲市) 高野恵衣 (出雲市) 幸野谷昌人 (京都府) 郷原小勇 (雲南市) 小椋小百合 (出雲市) 小椋輝枝 (出雲市) 小島光郎 (出雲市) 後藤博 (松江市) 後藤昌弘 (出雲市) 小林俊介 (出雲市) 小林祥泰 (出雲市) 古福克彦 (出雲市) 小松博幸 (出雲市) 木幡育夫 (松江市) 木幡 均 (松江市) 齊藤聡次郎 (出雲市) 佐伯善巳 (岡山県) 酒井良孝 (兵庫県) 坂根京子 (出雲市) 坂本正人 (出雲市) 櫻井誠己 (松江市) 櫻井秀暁 (出雲市) 佐々木友子 (大阪府) 佐々木博 (北海道) 佐々木博治 (出雲市) 佐々木昌延 (浜田市) 佐竹俊幸 (埼玉県) 佐藤康司 (出雲市) 佐藤順平 (大阪府) 佐藤辰巳 (出雲市) 佐藤宣雄 (出雲市) 佐藤横子 (出雲市) 佐藤陽一 (出雲市) 篠田孝紀 (松江市) 篠原春夫 (三重県) 志摩茂樹 (山形県) 嶋岡智子 (京都府) シマネヤ眼鏡店 (飯島健太) (出雲市) 清水義久 (神奈川県) 庄司和子 (宮城県) 昌子宗賢 (松江市) 新博治 (広島県) 新安祐 (広島県) 新宮清志 (東京都) 新宮基弘 (出雲市) 宍道正年 (松江市)

進藤哲夫 (出雲市) 新藤正春 (出雲市) 杉谷桂子 (出雲市) 杉谷 城 (奈良県) 杉谷寿之 (出雲市) 杉谷藤子 (松江市) 杉原敏之 (出雲市) 杉原元治 (出雲市) 杉本 照 (和歌山県) 須佐和夫 (出雲市) 須佐公和 (出雲市) 鈴木志帆子 (東京都) 鈴木登美子 (神奈川県) 鈴木益彦 (松江市) 須谷 洋 (出雲市) 周藤祥三 (出雲市) 砂川孝子 (出雲市) 角川 汎 (出雲市) 妹尾圭人 (出雲市) 妹尾淳也 (出雲市) 妹尾佳明 (東京都) 妹尾昭子 (出雲市) 千家礼子 (出雲市) 千家活彦 (東京都) 千家国麿 (東京都) 千家統子 (東京都) 千家尊祐 (出雲市) 千家真彦 (大阪府) 千家寛彦 (神奈川県) 千家隆比古 (出雲市) 千家典子 (出雲市) 千家徳比古 (出雲市) 千家幸子 (大阪府) 千家由美 (出雲市) 千家和比古 (出雲市) 千家敬磨 (大阪府) 曾田明雄 (出雲市) 曾田賢一 (出雲市) 曾田暢雄 (出雲市) 曾田浩志 (松江市) 曾田安信 (出雲市) 園山和美 (出雲市) 園山暢男 (出雲市) 園山博良 (出雲市) 園山幹生 (埼玉県) 園山光吉 (千葉県) 園山幸雄 (松江市) 大社門前いづも屋 (出雲市)

高橋 正 (出雲市) 高橋敏道 (出雲市) 高橋直裕 (出雲市) 高橋正和 (出雲市) 高橋成知 (出雲市) 高橋陽子 (滋賀県) 高見初彦 (出雲市) 高宮みどり (松江市) 宅和京香 (出雲市) 竹内繁蔵 (出雲市) 竹下孝三 (松江市) 竹下忠幸 (出雲市) 竹下正孝 (出雲市) 鈴木寿博 (出雲市) 須谷 清 (茨城県) 多々納征式 (出雲市) 多々納テル子 (出雲市) 立久恵音頭保存会 (安喰公美) (出雲市) 立花晃一 (出雲市) 立花佑祥 (出雲市) 立花直明 (出雲市) 田中和彦 (出雲市) 田中勝洋 (長崎県) 田中富雄 (出雲市) 田邊達也 (出雲市) 多根美奈子 (出雲市) 玉井浩邦 (松江市) 玉木満則 (出雲市) 玉木屋印刷 (青木治) (出雲市) 千熊正憲 (大阪府) 土江志朗 (出雲市) 堤真次郎 (愛知県) 津戸弘光 (東京都) 津戸雅志 (東京都) 都間正隆 (雲南市) 鶴見 誠 (出雲市) 手銭白三郎 (出雲市) 手銭 豊 (出雲市) 寺田直広 (大阪府) 東條京子 (福島県) 東條 勝 (福島県) 藤岡 武 (東京都) 富岡由美子 (東京都) 富田愛子 (松江市) 富田良治 (松江市) 豊田啓司 (松江市) 内藤篤雄 (出雲市) 内藤久義 (出雲市) 中泉智子 (出雲市) 中泉 淳 (東京都) 中尾克行 (出雲市)

中尾文江 (出雲市) 長岡呉服店 (出雲市) 長岡 栄 (出雲市) 永岡達朗 (出雲市) 長岡義孝 (東京都) 中島隆三 (京都府) 中島雄広 (出雲市) 中條愉紀子 (福岡県) 中筋豊通 (出雲市) 中筋雄昭 (松江市) 中筋廣三 (出雲市) 中筋崇之 (出雲市) 永田悦子 (出雲市) 永田靖一 (大阪府) 永田正巳 (出雲市) 永田幸弘 (出雲市) 永見鏡子 (大阪府) 中道豪一 (広島県) 中山裕一 (出雲市) 中山宏夫 (邑南町) 中山洋次 (愛知県) 柳楽愛子 (出雲市) 柳楽正雄 (出雲市) 那須央定 (出雲市) 奈根井律子 (出雲市) 成相有一 (出雲市) 成瀬敏郎 (出雲市) 西家秀夫 (出雲市) 西尾哲郎 (出雲市) 西尾尚恵 (出雲市) 西岡敦子 (岡山県) 西岡和彦 (神奈川県) 錦田剛志 (出雲市) 錦田充子 (出雲市) 錦織稔之 (出雲市) 西山新治 (福岡県) 西山順治 (出雲市) 新田良浩 (出雲市) 野田 清 (出雲市) 野津邦男 (出雲市) 野津登美子 (出雲市) 野寺菜穂子 (北海道) 登川文一 (沖縄県) 長谷川宗輔 (大阪府) 服部泰直 (松江市) 花田敦子 (出雲市) 花田智朗 (出雲市) 花田智治 (出雲市) 花野光貴 (福岡県) 早川正樹 (雲南市) 林 秀樹 (出雲市) 林 哲夫 (松江市) 原 哲夫 (出雲市)

原 幹雄 (出雲市) 原 量範 (出雲市) 春木英二 (出雲市) 春木康弘 (出雲市) 土方幸子 (愛知県) 日野保朗 (出雲市) 日野 正 (出雲市) 古山房雄 (松江市) 古川勤美 (愛知県) 別所親房 (京都府) 別所豊夫 (出雲市) 祝部仁子 (出雲市) 法橋美智子 (出雲市) 本田研治 (出雲市) 本田 亘 (出雲市) 前島和枝 (出雲市) 前田流依 (出雲市) 横原政治 (大阪府) 増浦行仁 (出雲市) 松井恵治 (出雲市) 松井邦江 (出雲市) 松井笙悟 (東京都) 松井周子 (出雲市) 松井裕子 (出雲市) 松井好夫 (出雲市) 松崎忠司 (出雲市) 松崎道子 (出雲市) 松崎みどり (出雲市) 松崎幸枝 (出雲市) 松田泰典 (出雲市) 松田恵美子 (出雲市) 松長直道 (山口県) 松永寿江 (松江市) 松野巨秀 (岐阜県) 松原廣美 (出雲市) 松原幸子 (出雲市) 松本岩雄 (松江市) 松本浩治 (出雲市) 松本健治 (出雲市) 松本左恵子 (出雲市) 松本俊憲 (出雲市) 松本敏浩 (出雲市) 松本敏枝 (大田市) 松本倫枝 (大田市) 松本徹之 (出雲市) 馬庭孝司 (出雲市) 水野二郎 (出雲市) 三原礼次 (兵庫県) 三原順一 (出雲市) 三原順子 (出雲市) 三原伸二 (出雲市) 三原昌夫 (出雲市) 三原道夫 (出雲市) 三村智彦 (東京都) 宮崎照司 (静岡県) 宮里慎二郎 (大田市)

古川百三郎 (出雲市) 古瀬修一 (松江市) 古瀬智彦 (松江市) 古瀬俱之 (出雲市) 古瀬勤美 (愛知県) 古山房雄 (松江市) 古川勤美 (愛知県) 別所親房 (京都府) 別所豊夫 (出雲市) 法橋美智子 (出雲市) 本田研治 (出雲市) 本田 亘 (出雲市) 前島和枝 (出雲市) 前田流依 (出雲市) 横原政治 (大阪府) 増浦行仁 (出雲市) 松井恵治 (出雲市) 松井邦江 (出雲市) 松井笙悟 (東京都) 松井周子 (出雲市) 松井裕子 (出雲市) 松井好夫 (出雲市) 松崎忠司 (出雲市) 松崎道子 (出雲市) 松崎みどり (出雲市) 松崎幸枝 (出雲市) 松田泰典 (出雲市) 松田恵美子 (出雲市) 松長直道 (山口県) 松永寿江 (松江市) 松野巨秀 (岐阜県) 松原廣美 (出雲市) 松原幸子 (出雲市) 松本岩雄 (松江市) 松本浩治 (出雲市) 松本健治 (出雲市) 松本左恵子 (出雲市) 松本俊憲 (出雲市) 松本敏浩 (出雲市) 松本敏枝 (大田市) 松本倫枝 (大田市) 松本徹之 (出雲市) 馬庭孝司 (出雲市) 水野二郎 (出雲市) 三原礼次 (兵庫県) 三原順一 (出雲市) 三原順子 (出雲市) 三原伸二 (出雲市) 三原昌夫 (出雲市) 三原道夫 (出雲市) 三村智彦 (東京都) 宮崎照司 (静岡県) 宮里慎二郎 (大田市)

宮本泰行 (出雲市) 宮本真史 (松江市) 森口正夫 (邑南町) 森田勝龍 (高知県) 森廣 操 (出雲市) 森本いく子 (松江市) 森本 淳 (松江市) 森山直知 (出雲市) 森山由美 (出雲市) 森山亮三 (出雲市) 森脇哲之 (松江市) 矢島健一 (千葉県) 矢田和則 (出雲市) 矢田信一 (出雲市) 奴 (原田優) (出雲市) 八巻秀徳 (出雲市) 山崎秀徳 (出雲市) 山崎一夫 (出雲市) 山崎 大 (出雲市) 山崎 尚子 (出雲市) 山崎七重 (出雲市) 山崎延行 (出雲市) 山崎春美 (出雲市) 山崎素文 (兵庫県) 山崎泰弘 (出雲市) 山下 信 (鹿児島県) 山下 聖子 (神奈川県) 山西政則 (松江市) 山根正明 (松江市) 山根幸文 (出雲市) 山根芳館 (出雲市) 山本章治 (大阪府) 山本智幸 (東京都) 山本浩 (東京都) 山本左恵子 (出雲市) 山本 豊 (京都府) 八幡一寛 (鳥取県) 有限会社 ギフトながさ (出雲市) 祐源敦好 (出雲市) 祐源澄子 (出雲市) 祐源泰成 (出雲市) 横山和明 (広島県) 横山雅樹 (岡山県) 吉川 敏夫 (出雲市) 吉川 實 (出雲市) 吉田勝彦 (出雲市) 吉田龍彦 (岡山県) 吉田敏夫 (出雲市)



寄 附

出雲大社御遷宮奉賛会
 大社史話会 (出雲市)
 津和野流鎗馬保存会 (出雲市)
 直江一式飾り保存会 (津和野町)
 望月敏雄 (出雲市)
 吾郷絃一 (出雲市)
 伊藤征男 (出雲市)
 林 秀樹 (出雲市)
 土方幸子 (愛知県)
 藤原秀彬 (出雲市)
 吉田安子 (出雲市)

吉田博晴 (出雲市)
 吉田ひろみ (岩手県)
 吉田安子 (出雲市)
 吉田利江 (雲南市)
 吉野直人 (岐阜県)
 吉野洋克 (岐阜県)
 吉原每文 (東京都)
 珍部千裕 (神奈川県)
 米田拓朗 (出雲市)

若月剛久 (出雲市)
 若槻俊二 (出雲市)
 若月俊正 (出雲市)
 和田晶夫 (出雲市)
 和田耕一郎 (松江市)
 和田晋爾 (松江市)
 和田節子 (松江市)
 和田統彦 (松江市)
 和田秀穂 (出雲市)
 渡邊憲治 (京都府)
 渡部しずか (出雲市)
 渡邊衛士 (出雲市)
 渡部輝之 (出雲市)
 渡部良治 (出雲市)
 渡部良平 (松江市)

(個人会員計六三〇名)

あなたが支える「出雲」文化!

先人たちから受け継いだ美しい自然風土や歴史、伝統文化を現代に生かして地域の活性化に結び、それを子孫に橋渡しをする担い手になることを使命とします。

会員を募集しています!

◆入会について

会費は、年度制(4月～翌年3月)です。いつでも入会できます。

※「出雲」文化を愛する人は、どなたでも会員になれます。

(注)ここでいう「出雲」とは狭義の出雲ではなく、隠岐から石見までを含む幅広い地域を想定しています。

◆会員の種類・年会費

正会員(個人) 一口 2,000円 正会員(法人) 一口 20,000円 (何口でも結構です。)

◆会員の待遇

- 会員証をお送りします。
- 下記の協賛施設にて会員証を提示いただくと、優遇措置が受けられます。
 - ・出雲大社宝物殿(拝観料無料、翌年4月末まで有効です)
- 定期的に会報「財団いづも」をお送りします。
- 講演会・シンポジウム等の各種イベント開催のご案内をいたします。

◆入会方法

- 1、会員申込資料を電話かファックス、葉書、メールにてご請求ください。または、直接いづも財団事務局までおいで下さっても結構です。
- 2、送付された入会申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒またはファックスにてお送りください。
- 3、下記口座のいずれかへ会費をお振込ください。

【郵便局】(手数料はかかりません)

同封の郵便局払込票にてお振込ください。

郵便振替口座番号 01360-9-55417

口座名「公益財団法人いづも財団」

(コウエキザイダンハウジン イヅモザイダン)

【銀行】(手数料はご負担願います)

山陰合同銀行 大社支店 普通 3628973

口座名「公益財団法人いづも財団」

(コウエキザイダンハウジン イヅモザイダン)

お問い合わせ

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283 大社國學館内 公益財団法人いづも財団事務局
 電話: 0853-31-4346 F A X: 0853-31-4348 E-mail: info@izumozaidan.or.jp